

年齢・体格に応じて生活習慣が腎機能・心血管病・老年病に及ぼす影響：多施設人間ドック受診者集団を用いた疫学研究

1. 研究の対象

多施設人間ドックを受診された症例

2. 研究目的・方法

生活習慣（食生活、運動習慣、喫煙、飲酒、睡眠など）は、心血管イベントや老年病（認知症、サルコペニア、骨粗鬆症など）の発症や進行に深く関与することが多くの研究で示唆されている。しかし、これらの生活習慣と健康アウトカムに関連が、個人の体格（BMIや腹囲）や年齢によってどのように異なるのかについては、十分に明らかにされていない。特に、日本の一般成人を対象とした大規模な疫学研究において、これらの要因を考慮した詳細な解析は限られているのが現状である。

本研究では、多施設の人間ドック受診者集団を対象に、生活習慣と腎機能、心血管イベント、老年病の関連について、体格別および年齢別に詳細に検討することを目的とする。これにより、個々の特性に応じたリスク評価を可能にし、より効果的で個別化された予防戦略の最適化を目指す。最終的には、健康寿命の延伸および生活の質（QOL）の向上に寄与することを期待する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：病歴、治療歴、併存疾患の状況、生活習慣など問診内容、身体所見、各種画像検査結果 等

試料：血液・尿検体 等

4. 外部への試料・情報の提供

当院内でデータ解析を行いますので、外部への提供はありません。ただ、資料の測定のため外注検査を依頼する場合がありますが、個人情報は保護されます。

5. 研究組織

研究主幹施設：地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 腎臓内科

研究協力施設：一般財団法人 住友病院

6. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

研究責任者：地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 腎臓内科 村津 淳
研究代表者：地方独立行政法人 りんくう総合医療センター 腎臓内科 村津 淳

(2023 年 7 月 4 日)